

米沢興譲館高校SSH通信

スーパーサイエンスハイスクール

2年探究講座② グリーンイノベーション・ライフイノベーション実験講座②・紅花ワークショップ

9月28日(水)、2年探究講座②が行われました。理数探究科の生徒は、プログラミング学習環境『Monaca Education』において、プログラミングについて体験的に学びました。セガが展開するアクションパズルゲーム『ぷよぷよ』をプログラミング学習に応用し、主体的、創造的、協働的に学びを深めました。今回の講座で学習したことをもとに、10月16日に本校会場で開催された興譲館探究フェスティバルにおいて、小中学生向けにプログラミング教室を行いました。また、国際探究科の生徒は、紅花の魅力や地域の魅力を発信する英語のスライドやPR動画を作成し、米沢市役所の相田隆行氏、米沢市・長井市の国際交流員(CIR)の方々からご指導ご助言をいただきました。

ぷよぷよプログラミング講座

2年探究科 男子

初めてのプログラミングでしたが、こういったものがよくわかりました。最初は何をどうすればいいのかよくわかりませんでしたが、講師のぴぽにあ選手の説明のもと、ぷよぷよのプログラミングの文章を正しく打ち込んでいき、無事、ぷよぷよを動かすことができ、大きな達成感を得られました。慣れてくるととても楽しく自ら進んで周りの友達にも教えていました。また、日本語訳がついていたのでプログラム言語が分からない自分でも新しいルールをプログラムすることもでき、友達と互いの作品を共有して、難しい物があったり、遊びやすくなっている物があったり、様々な作品を楽しめました。楽しみながらプログラミングのスキルだけでなくゲームを考える上での想像力も身につく、とてもためになる講座を受講できたと思います。この講座で学んだプログラミングの基礎を大事に、これからのSSR(スーパーサイエンスリサーチ)などの活動で、この講座で培った想像力などを活かしていこうと思います。



興譲館探究フェスティバル

10月16日(日)、興譲館探究フェスティバルを開催しました。1年生の探究科生徒、CSS部の生徒が中心となり、小中学生向けの科学実験講座やSDGs講座、ぷよぷよプログラミング講座のそれぞれのブースを運営しました。前半、後半合わせて約100名の小中学生の参加があり、生徒は楽しくコミュニケーションをとっていました。

探究フェスティバルを振り返って

1年探究科 男子

私は今回の探究フェスティバルで2つのことを学びました。

1つ目は、事前準備の中で学んだ計画することの大切さです。私は金属にメッキを作る実験のグループに所属していましたが、準備期間では参加者の動線や実験の流れをシミュレーションすることで、当日もスムーズに対応することができました。

2つ目は、当日実践して身につけたコミュニケーション力です。参加者の方々に科学の実験をわかりやすく楽しく体験していただくために、説明するときはゆっくり話すように心がけたり、実験をしている小中学生に「よくできたね」などの声をかけたりするように心がけました。そうすることで小中学生や保護者の方々の楽しそうな顔を見ることができました。

今回の探究フェスティバルで学んだことをこれからも様々な場面で活かしていきたいです。

SDGsを地域の子供達へ

1年探究科 男子

今回、興譲館探究フェスティバルに「SDGsカードゲーム班」として参加して、普段、授業では学べないようなことを多く学ぶことができました。

班のメンバーと綿密に打ち合わせを行い、「なせばなる秋まつり」にてでた課題についても話し合うことでできる限りの準備をして、本番に臨むことができました。

本番では小さな子供達への声の掛け方やカードゲームの説明の仕方を工夫することで楽しんでSDGsを学んでもらうことができました。また、本番の最中にでた「お客さんがあまり来ない」という課題にも全員でアイデアを出し合い、臨機応変な対応をすることができ、よかったです。

この経験を活かし、12月にあるTTT(東京探究ツアー)や来年度のSSR(スーパーサイエンスリサーチ)につなげ、探究活動をよいものとしていきたいです。

